



鳥海山麓の美しい棚田を 未来へつなぐ協定活動

にかほ市 横岡集落協定

平成22年10月

段差のある水田



段差のある水田



堰台普請 (4月)



堰台普請 (4月)



さなぶり普請 (6月)



さなぶり普請 (6月)





さなぶり普請 (6月)

花壇づくり(6月)



花壇づくり (6月)



花壇づくり (6月)



運動会 (5月)







神明社祭り(6月)



財産普請 (8月)



財産普請 (8月)



農道普請 (9月)



農道普請 (9月)



農道普請 (9月)



総会 (3月)



総会 (3月)





災害復旧

災害復旧



水路



先進地研修(21年7月)



先進地研修 (21年7月)





先進地研修 (19年7月)



菜の花・交流 (5月)



菜の花・交流(5月)



菜の花・交流(5月)



取り組みが始まる前の状況

- 今よりもみんな若かった。必要なことはなんとかやっていた。
しかし…
 - 大雨等の被害を受けやすい農地、農道等の維持・補修
 - 共同作業への人手の確保
- など、将来への不安は誰もが持っていた。

集落協定への取り組み

- 1年間、周りの協定活動を見て、話をきいて、H13から取り組んだ。
- 協定の規模や土地条件を考えて、きめ細かな対応ができるように5つの団地（グループ）で構成している。
- 集落内の各組織との連携を考えて、協定の代表は自治会長としている。

集落協定参加者の声

- 女性の意識が変わってきた。協力していかなければならないと思うようになってきた。
- 集落協定・交付金がなければ大変だった。上流部の農地の維持管理は難しかったと思われる。
- 今後この事業（交付金）が続かなくなったらどうなるか、
…一気に逆になってしまうかも。

活動を行ってきて変わってきたこと（成果）

- 女性の活動が活発になってきた（花壇、景観作物）。
- 平成13年からの9年間で農道・水路の利便性が格段に良くなった。
- 集落の人達が建設的な考えを持つようになってきた。
- 農地や関係施設・環境の維持管理はもとより、伝統行事などへの取り組みもまとまりが強くなってきた。
- 構成員からの要望に対して集中的に対応できるようになった。

地域の資源

(鳥海マリモ)

鳥海山麓の獅子ヶ鼻湿原の伏流水が豊富に湧き出ている所で自生する苔

(元滝伏流水)

鳥海山の伏流水が湧き出て滝になっている景勝地
(マイナスイオンがいっぱい)

(奈曾川河川公園)



協定活動のこれから

- 次期対策へも大きな期待
- 地域資源として棚田風景の活用を検討

棚田からみた夕日